

Greeting

本日は、テンピースプラス・ワンライン第8回コンサートにお越しいただき、誠にありがとうございます。

本日のプログラムのテーマは「**ジョージ・ガーシュウィン**」。ガーシュウィンは、クラシックとジャズの融合を果たし、形式的で厳格だったクラシック音楽の世界に無限の多様性を与えました。そんな彼の懐めくような作品群の中から、お馴染みの曲を厳選してお送りします。

10人のブラスのサウンドで表現するガーシュウィンの世界。どうぞお楽しみください。

Ten Piece Brass ONELINE 代表 高本弘幸

Sound Adviser



小泉 貴久 (サウンドアドバイザー)
TAKAHISA KOIZUMI *Sound Adviser

東京都出身。10歳よりトランペットを始める。
東京音楽大学トランペット科卒業。

トランペットを北村源三、丸山研也、林昭世の各氏に師事。
1989年、韓国「コリアン・シンフォニー・オーケストラ」に入団。
帰国後、オーケストラ、ミュージカル、吹奏楽、アンサンブルなどで演奏活動を展開。

2009年、Vivid Brass Tokyo のソリストとしてフィリップ・スパーク作曲の「Concerto Grosso」を作曲家自身の指揮で演奏し、好評を得る。

作曲、編曲活動も行っており様々な編成の作品がある中、昨年テンピースプラス・ワンラインのために作曲した「無限に煌めく星たちへの讃歌」を金管バンドのフル編成に書き直して、今年春にディアズ出版より楽譜とCDが発売される予定。

現在、Vivid Brass Tokyo ソロコレット奏者、
アレクテ室内管弦楽団首席奏者、
石川翼トランペットソサエティ専属アレンジャー。

2018年も2月頃にコンサートを行う予定です。
詳細が決まり次第、ホームページなどでお知らせいたします。

Special Thanks

ステージマネージャー
木内 太一 様
TARUICHI KUCHI
Stage Manager

受付
寺田 和弘 様
KAZUHIRO TERADA
Reception

受付
村上 俊明 様
TOSHIAKI MURAKAMI
Reception

映像
山崎 品弘 様
AKIHIRO YAMAZAKI
Movie

写真
山口 敦 様
ATSUSHI YAMAGUCHI
Photo

Website <http://oneline.tokyo/>

Facebook <https://www.facebook.com/tenpiece.brass.oneline/>

Ten Piece Brass ONELINE *8th Concert

Ten Piece Brass
ONELINE *8th Concert
テンピースプラス ワンライン 第8回コンサート

2017年
2/19 日 13:30開場 14:00開演
清瀬けやきホール

Program

スリップストリーム (フィリップ・スパーク)

Slipstream by Philip Sparke

ブラスバンドや吹奏楽の作曲家として日本でも大人気のイギリス人作曲家フィリップ・スパーク(1951-)のコンサートマーチ。1987年にこの曲で欧州放送連合の作曲コンペティションにおいて3年連続優勝を果たした。スリップストリームとは、高速移動する飛行機や車などの直後に発生する後方向きの空気流の現象のことを言う。シンコペーションのメロディが与える疾走感が特徴的な印象を与えている。

「チューバ協奏曲」より第1楽章 (エドワード・グレッソン)

1st Movement from "Tuba Concerto" by Edward Gregson

作曲したエドワード・グレッソン(1945-)は、イギリス人作曲家で、複雑なパッセージとリズムを多用しつつも叙情的なメロディは大変親しみやすい。オーケストラ、室内楽、ブラスバンド(金管バンド)などの作曲をしている。日本では吹奏楽の作曲家としても有名。1920~1930年代に活躍した、ウィリアム・ウォルトンやレイフ・ヴォーン・ウィリアムズの作品に影響を受けている。

Ebバス・ソロ/庄司 考志
Eb Bass Solo by Takashi Shoji

サマータイム (ジョージ・ガーシュウィン / ハワード・スネル編曲)

Summertime by George Gershwin / arr. Howard Snell

オペラ「ボーギーとベス」の劇中歌。オペラの第1幕冒頭、漁師の女房が生まれたばかりの赤ん坊に歌いかける子守唄。その歌詞は「父さんは金持ち、母さんは美人、だから良い子だから泣かないで...そのうちに、おまえは歌いながら飛び立て、翼を広げて、空を捕まえられるよ、だからその朝までは、父さんと母さんが側にいるから、何も書か加えられないよ」という意味。3幕あるオペラの幕毎に歌われ、少しずつ歌詞が変わり、恋しさが増してい

ソプラノ/コレット・ソロ: 東 正和
Soprano/Corset Solo by Masakazu Azuma

組曲「ボーギーとベス」 (ジョージ・ガーシュウィン)

Suite from "Porgy and Bess" by George Gershwin

ガーシュウィンの兄アイラと作家デュボース・ヘイワードとの協力で書かれたフォーク・オペラ。黒人コミュニティの風俗をリアルに描き、1935年にオール黒人キャストで初演された。オペラとしては異色のこの作品は、1920年頃のアメリカ南部のキャットフィッシュ・ロウという黒人居住区に暮らす足の不自由なボーギーと給仕女のベスの悲恋の物語。奴隷制度は終わったものの、未だに黒人の社会進出が阻まれていた時代の、南部の閉塞感が物語を通して伝わる。

- I - It Ain't Necessarily So (そんなことはどうでもいさ)
- II - Got Plenty O' Nuttin' (くたびれもうけ)
- III - Bess, You Is My Woman Now (ベス、お前は俺のもの)
- IV - I'm On My Way (そっちに向かってよ)



~休憩(15分間)~

ストライク・アップ・ザ・バンド (ジョージ・ガーシュウィン)

Strike Up the Band by George Gershwin

1927年に公開されたミュージカルのメインテーマ。ガーシュウィンには珍しく、当時戦争をしようとしていたアメリカへの反戦を題材とした風刺的なストーリー。ミュージカルとしてはヒットしなかったが、後にテーマソングを楽器のみのマーチとしてリメイクして大ヒットした。

私の伴侶 (ジョージ・ガーシュウィン / アラン・ファーニー編曲)

Someone to Watch Over Me by George Gershwin / arr. Alan Fernie

ジャズソングの中でも屈指の名曲と言われている。1926年に初演され、以降256回も公演された大ヒットミュージカル「オーケー」の挿入歌。映画音楽で使用されたり、エラ・フィッツジェラルドなど数々の有名歌手に歌われたり。最近では野村不動産「ブラウド」のCMでもおなじみ。作詞は兄アイラによる。まだ見ぬ生徒の伴侶に「早く私を見つけてほしい」と待つ切ない女心を歌った曲。

あなたが欲しい (エリック・サティ)

Je te Veux by Erik Satie

1900年に作曲された。元々は「スロー・ワルツの女王」と呼ばれた人気シャンソン歌手ポーレット・ガルティのために書かれた歌詞の付いたシャンソンだったが、今ではサティ自身による編曲のピアノ曲がよく知られている。題名は日本語では「あなたが欲しい」。サティの作品のうちでもっとも広く親しまれているものの一つ。

パリのアメリカ人 (ジョージ・ガーシュウィン / ハワード・スネル編曲)

An American in Paris by George Gershwin / arr. Howard Snell

ニューヨークフィルの委嘱を受けて1928年に発表された。パリの活気に触発されて作曲したという、いわば音楽によるフランス紀行文。自動車のクラクションを用い、都会の生活や喧騒をウィットを交えて楽しく描いている。ニューヨークで行われた初演のためにパリのタクシー用のクラクションをアメリカに持ち帰ったという逸話も、1951年にはジーン・ケリー主演で同名のミュージカル映画になっている。



Members



東 正和 (ソプラノ/コレット)
MASAKAZU AZUMA *Soprano/Corset

使用楽器/マウスピース
Ariane Oeufs AC1079-14 / DENIS WICK Hurliga S



高木 弘幸 (コレット)
HIROYUKI TAKAGI *Corset

使用楽器/マウスピース
BESSON Sovereign BE28 / DENIS WICK P&G



川ノ上 梓 (コレット)
AZUSA KAWANOUE *Corset

使用楽器/マウスピース
YAMAHA YCR3330 / YAMAHA 14E



篠田 周平 (フリューゲルホルン)
SHUHEI SHINODA *Flugelhorn

使用楽器
King Legend 2020 / DENIS WICK 3FL



竹ノ内 晋 (チナーホーン)
SHIN TAKAGISHI *Tamor Horn

使用楽器/マウスピース
BESSON Prestige BE2050 / DENIS WICK 4



高木 理恵 (バリトン)
RE TAKAGI *Baritone

使用楽器/マウスピース
BESSON Sovereign BE35E / DENIS WICK SM89



本多 沙織 (ユーフォニアム)
SACHIE HONDA *Euphonium

使用楽器/マウスピース
Wilson TAZ900S / GREGO S



庄司 考志 (E♭バス)
TAKASHI SHOJI *E♭ Bass

使用楽器/マウスピース
Wilson JMO T&T / W. #N-02 *Water-Keys Model



岩崎 稔 (バス・トロンボーン)
HIROSHI IWASAKI *Bass Trombone

使用楽器/マウスピース
Edwards B454(E)B-DBN / GREGO 0.5DECO



藤井 義隆 (トロンボーン)
YOSHIIKAZU FUJIE *Trombone

使用楽器/マウスピース
Vicent Bach B240 / W&W's K2 E-12AL



恵原 至 (パーカッション)
IHARU AKUHARA *Percussion



安東 友樹子 (パーカッション)
YUKIKO ANDOU *Percussion